

「真っ赤なお鼻」の放課後

作：大西弘記 演出：大谷賢治郎



【あらすじ】

高校2年生の青砥雛子は進路について悩んでいた。それは進学や就職に対して未来への明るいビジョンがなかったから……。医療事務の仕事を見学するため病院に行った雛子。そこにいたのは真っ赤なお鼻のクラウンだった。何かをやりたいとか、何かになりたいとか、そういった何かがなかった雛子にやっと芽生えた夢の蕾。現代の若者が純粋な夢と出会い、現実の中で沢山の葛藤を抱えながら、一人の人間として成長してゆく！

【企画にあたって】

“子どもの笑顔”をテーマにした作品を作りたい！と、企画が立ち上がり、すぐに出会ったのが、クラウンが“病院を訪れ病気の人たちを笑顔にしている活動”でした。そして昨今話題になっている“ヤングケアラー”の問題も取り上げたいと方向性が決まってきました。ここ数年の病や社会情勢などから来る不安を払拭する、すべての人が笑顔になる、そんなお芝居を目指し、今を生きるすべての人たちに贈ります。